

国語科学習指導案

令和6年9月20日(金)

第4校時 13時10分～14時00分

1年B組 36名

指導者 門脇 舞

- 1 単元名 「パリ2024オリンピック・パラリンピックの若年層の興味関心度を大調査」
【レポートを書く】根拠を明確にして自分の伝えたいことを書く

2 単元設定の理由

(1)教材について

・言語活動は、「パリ2024オリンピック・パラリンピックの若年層の興味関心度を調査し『レポート』にまとめる」と設定する。第1学年では書くことにおいて、「根拠を明確にすること」が求められる。本活動も、根拠となる複数のデータや調査結果を分析し、それを引用することで自分の考えを支え説得力を高めるものになるのかを思考するものとなっている。

・題材は、「オリンピック・パラリンピックに対する興味・関心度のデータ」を用いるものである。オリンピックはこの夏に行われた国際的なスポーツの祭典であるため、新しいデータも多く関心度も高いことから、生徒がレポートを作成する上で、考察を支えるデータも多いと考えられる。

・この単元では、根拠を明確にするためのデータの引用の仕方や出典の方法、さまざまな種類のデータを多角的に読み取る力を育成することも求められている。多くの企業がさまざまな観点から調査を行っているデータを活用することで、求められる力をより効果的に育成できる。

(2)学習者について

・6月には、夏に役立つ必須アイテムを紹介するという「書くこと」の授業を行っている。そこでは、マッピングを用いて情報を集め、その情報を分かりやすく整理する方法を学習した。学習者の授業後の振り返りでも「情報をまとめることは他の授業でも活用でき、書くだけでなく話す時にも活用できると考えた」「同じアイテムを選んでいてもその理由となる情報が違っていったことに驚いた」などが書かれており、「情報をまとめること」や「その情報を活かして文章を書くこと」には手ごたえを感じているようであった。一方で、「選んだ情報」が自分の考えを支えるものになっているかという部分に関しては、「夏にオススメ」する根拠となる情報を選べていないことや、情報ばかり述べ、自分の考えと根拠の情報が正確につながっていない紹介文が見られた。

・夏休み前に、「中学生に人気の高いもの・関心が高いもの」「この夏に楽しみにしていること・関心があるもの」というアンケートを取った結果、「アニメ・漫画」「TikTok」「YouTube」などはもちろんだが、4年に一度開催される「パリ 2024 オリンピック・パラリンピック」への関心も高いことが分かった。学習者自身が関心を持ち、また直近で行われた国際的なスポーツの祭典であるため、親しみやすく、書くことに対して苦手意識を持っている学習者にとっても意欲喚起に繋がると考える。

・学習者にとって ICT 機器は身近なものであり、情報を調べることにに対しては慣れている一方で、調べたことを分析する力が弱い。情報の数値を読み取る力や情報と情報を比較することに慣れていないという課題があげられる。

(3)指導について

・今回の単元では、「自分の考え」とそれを支える「根拠」を合致させることが大きな目標である。そのためには、根拠(資料やデータ)をもとに「そのデータからどのような事実を読み取り、そこからどんな解釈をしたのか」を明確にする必要がある。そのため、学習者の思考の過程が見えるようなワークシートを作成し、指導していき、最後のレポート作成に繋げていく。

・仮説を立てるにあたって、全体で一つのグラフを読み取る活動を行う。年代ごとの「パリ2024オリンピック・パラリンピック」に対しての興味関心度を示すグラフから、若年層に着目させる。学習者自身も関心度が高い「パリ2024オリンピック・パラリンピック」であるが、世論がどう捉えているのかをグラフから読み取った上で仮説を立て、「調査」「考察」へと繋げていく。学習者がもっている興味関心度をより一層引き出すために、最初に提示するグラフを、多くの仮説が導き出せるようなものになるように工夫する。また、課題を設定する上で「パリオリンピック・パラリンピックと〇〇」と視点を絞らせ調査分析させることで、学習者一人ひとりがより具体的な課題設定や仮説を立てられるようにする。

・学習者自身が調査する「情報の質」に対しても細かく指導していく。自分の仮説を証明するための「根拠」を多くの情報の中から取捨選択し、自分の「考察」へと繋げていく中で、情報と情報との関連がとても重要になる。複数の根拠を抜き出しても、一つひとつの情報の関連が薄ければ「考察」を支える根拠として弱くなる。そのためただ単に情報を集めるのではなく、情報と情報との関係を考え、「考察」を述べる上での「根拠」として適切なものかどうかの指導を行っていく。

単元プランシート(国語科1年)

実施時期9月

単元名		「パリ 2024 オリンピック・パラリンピックの若年層の興味関心度を大調査」 【レポートを書く】根拠を明確にして自分の伝えたいことを書こう！
単元の目標		確かな根拠を示し考えまでが一貫した説得力のあるレポートを、各自が仮説を立て考察を導き出す学習を通して書くことができる。
評価 規 準	知・技	①情報を関連付ける整理の仕方や、引用の仕方、出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(情報の扱い方に関する事項(2)イ)
	思・判・表	①目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(書くこと(1)ア) ②自分の考えを裏づける資料やデータを選び根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫している。(書くこと(1)ウ)
	主体	①集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしようとしている。 ②文章の構成や展開の仕方を粘り強く考え、レポートを作成しようとしている。 ③レポートの作成を通して、本単元で学んだことを言語化している。

	学習内容	評価計画		
		知・技	思・判・表	主体
1次 (1時)	・「オリンピックに関する資料」を読み解き、オリンピックへの関心を高め学習の見通しをもつ。 ・自分の課題を設定し、仮説を立てる。			②(1時)観察
2次 (2・3時)	・自分の仮説を考察するための情報を整理し分析する。 ・根拠(資料やデータ)と自分の考え(考察)をまとめる。 ⇒資料やデータを取捨選択し、自分の根拠が明確になるようにする。	①(2・3時) ワークシート	①(2・3時) ワークシート	①(2・3時) ワークシート
3次 (4～6時)	・根拠(資料やデータ)と自分の考え(考察)に一貫性のあるものにするためには、どのように資料やデータを取捨選択する必要があるのか考える。【本時】 ⇒例題を用いて根拠を元にした考察とはどのようなものなのか考え、自分の考察を見直す。 ・レポートの推敲。 ⇒前時を振り返り情報の精査及び考察を推敲する。 ・レポートを清書する。(PCを使用する)		①(4時) ワークシート	①(4時) ワークシート
			①(5時) ワークシート	①(5時) ワークシート
		①(6時) レポート用紙	②(6時) レポート用紙	②(6時) レポート用紙
4次 (7時)	・レポートを交流する。 ・ワークシートを用いて、単元の振り返りを行う。			③ 振り返りシート

○…記録に残す評価(総括的評価) ●…記録に残さない評価(形成的評価)

	評価基準(思考・判断・表現について)	
	B	A
①	自分の考え(考察)が明確になる根拠(資料やデータ)を抜き出すことができている、その根拠と考察に一貫性がある。	自分の考え(考察)が明確になる根拠(資料やデータ)を抜き出すことができている、根拠と根拠を関連づけた上で考察と一貫性をもたせている。
②	資料やデータを引用することで、考察が説得力のあるレポートになっている。	資料やデータを引用することで、課題から考察が一貫した説得力のあるレポートになっている。

様式3 本時の指導

(1) 本時の位置づけ(4/7)

(2) 題材「調査の結果(資料やデータ)」と「考察」の関係について考えよう。

(3) 本時のねらい

資料やデータと自分の考えに一貫性のある考察にするために、考察を裏づける資料やデータを取捨選択することを、例題で示されたレポートから客観的な事実(資料やデータ)と自分の考え(考察)の関係について考える活動を通して、自分自身のレポートに活かすことができる。

(4) 展開

時間	学習活動	学習内容及び指導上の留意点	評価
5分	1. 前時の振り返りと本時のめあて及び学習内容を確認する。	○本時のめあてと学習内容を確認する。	
	【めあて】自分の考えを明確にした「考察」にするために「調査結果」と「考察」の関係を見直そう。		
		○自分の考えを明確にした「考察」にするためにはどの項目との関連が必要か考えさせる。	
	【課題】二つの例題の考察はどちらが説得力のあるものだろうか。その理由はなぜだろうか。		
10分	2. 二つの例題の「考察」のどちらが説得力のあるものか考える。【個人】	○自分が選んだ例題の「考察」のどの部分が説得力のあるものと感じたのか、その理由は何なのかを個人で考えさせる。 →周りとの交流などを通して中間指導を入れる。	
15分	3. 班で交流したあと全体で交流する。	[まとめ] (気づかせたいこと) ・調査結果をもとにして考察を書いている。 ・調査結果を比較したり、結び付けたりする中で書いている。 ・一つの調査結果からそれを詳しくするための調査結果を使い、考察に結び付けている。 ・考察の中では、調査結果の大切な部分だけをまとめて述べている。	
15分	4. 自分の前時のプリントを見返し修正する。その後、ペアで交流する。 →全体で数名指名し交流する。	○前時で学習した、「調査結果」と「考察」の部分をもう一度見直し、修正の方向性を考える。 ○なぜその部分を修正した方がいいのかの理由も考える。	自分の考えを裏づける資料やデータを選び根拠が明確になるように修正する方向性を考えることができる。 (書くことーア)
5分	5. 振り返りを書く。	○考察が説得力のあるものになるためには何が必要なのか考える。	
		[振り返りに書く内容] ＊1時間の授業を通して自分が学んだことは何か。 ＊この1時間の授業を通して、何を学んだのか。 について書かせる。	

(5) 本時の評価基準

評価基準(思考・判断・表現について)	
B	A
自分の考え(考察)が明確になる根拠(資料やデータ)を抜き出すことができており,その根拠と考察に一貫性がある。	自分の考え(考察)が明確になる根拠(資料やデータ)を抜き出すことができており,根拠と根拠を関連づけた上で考察と一貫性をもたせている。

(6) 学習記録計画

